

千葉市感染症発生動向調査情報

2019年 第17週 (4/22-4/28) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		17週	16週	15週	14週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数	小児科	17	18	18	18
	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	27	28	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定 点	感 染 症 名	千葉 市					千葉県
		注意報	4/22-4/28	4/15-4/21	4/8-4/14	4/1-4/7	4/15-4/21
			17週	16週	15週	14週	16週
小 児 科	RSウイルス感染症		1 0.06	4 0.22	4 0.22	1 0.06	63 0.47
	咽頭結膜熱		4 0.24	8 0.44	1 0.06	2 0.11	39 0.29
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	58 3.41	45 2.50	55 3.06	56 3.11	425 3.15
	感染性胃腸炎		99 5.82	114 6.33	97 5.39	106 5.89	802 5.94
	水痘		4 0.24	9 0.50	8 0.44	4 0.22	41 0.30
	手足口病		0 0.00	1 0.06	1 0.06	0 0.00	4 0.03
	伝染性紅斑		17 1.00	19 1.06	22 1.22	12 0.67	171 1.27
	突発性発しん		12 0.71	18 1.00	12 0.67	10 0.56	70 0.52
	ヘルパンギーナ		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.04
	流行性耳下腺炎		1 0.06	0 0.00	0 0.00	2 0.11	7 0.05
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)	↓	70 2.59	93 3.32	34 1.21	27 0.96	507 2.38
眼 科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎		1 0.20	2 0.40	1 0.20	1 0.20	13 0.37
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.22
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.33
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	2 2.00	0 0.00	8 0.89

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(7件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	20歳代	IGRA検査	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	女性	50歳代	細菌の分離・同定及び薬剤耐性の確認
結核	女性	60歳代	病原体の分離・同定等				
結核	女性	80歳代	IGRA検査等	侵襲性インフルエンザ菌感染症	男性	10歳未満	病原体の分離・同定
百日咳	女性	60歳代	病原体遺伝子の検出		男性	80歳代	

・第17週は、結核3件(59)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(5)、侵襲性インフルエンザ菌感染症2件(5)、百日咳1件(35)の報告があった。

※ ()内は2019年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

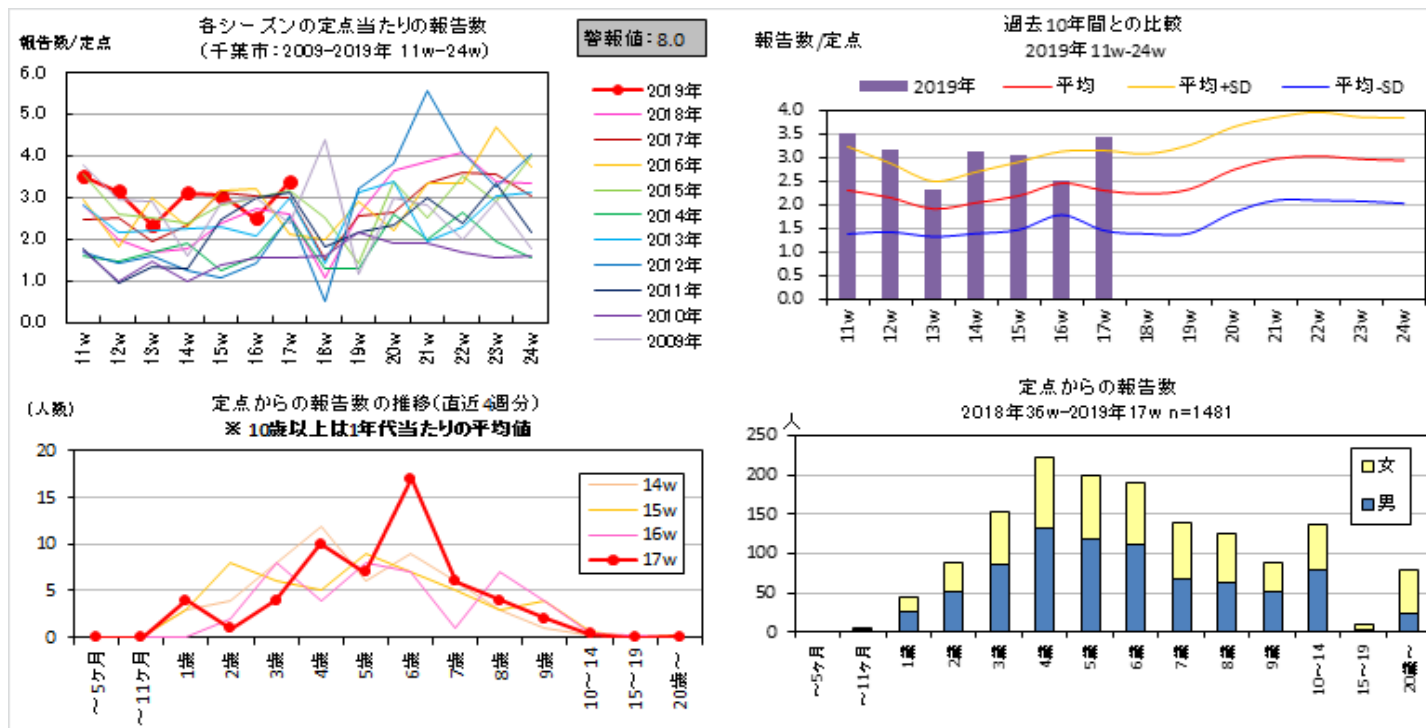
定点当たり報告数 第17週のコメント

＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞前週より増加し3.41となった。過去10年の同時期と比べると最多。
＜インフルエンザ＞前週より減少し2.59となったが、過去10年の同時期と比べると多めのまま。

■ トピック ■

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

全国レベルの第16週の定点当たりの報告数は2.76で、過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では、鳥取県、北海道、新潟県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は3.15で、全国レベルと比べるとやや多めとなっています。千葉市の第17週は前週より増加し3.41となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況は、稲毛区(6.67/定点)で最多で、同区の6歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2018年第36週から2019年第17週までの累積報告数は1481件で、性別では男性が55.3%(819名)、女性が44.7%(662名)となっており、年齢階級別では4歳(15.0%:222名)、5歳(13.5%:200名)、6歳(12.8%:190名)の順で多くなっています。



<インフルエンザ>

全国レベルの第16週の定点当たりの報告数は2.54で、過去10年の同時期と比べると少なめとなっています。都道府県別では、秋田県、山形県、福島県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は2.38で、ほぼ全国レベル並みとなっています。千葉市の第17週は前週より若干減少し2.59となりましたが、過去10年の同時期と比べると多めのままとなっています。区別の発生状況は、美浜区(5.00/定点)で最多で、同区の10歳代前半で最も多く、一年代当たりでは6歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2018年第36週から2019年第17週までの累積報告数は8584件で、性別では男性が49.6%(4260名)、女性が50.4%(4324名)となっており、年齢階級別では5歳(6.36%:546名)、4歳(5.92%:508名)、6歳(5.91%:507名)の順で多くなっています。

